

# 教職員編

2012/1/7 ベネッセ次世代育成研究所 真田 美恵子

TEL 03-5320-1229

[msana@mail.benesse.co.jp](mailto:msana@mail.benesse.co.jp)

# ● 目次 ●

● 調査概要 .....3

## 結果まとめ p.4

### 教職員の資質向上 p.5

- 資質向上に必要なこと..... 5
- 園（校）外研修..... 6
- 教職員研修の改善点..... 7

### 保幼小連携 p.8

- 交流の状況..... 8
- 推進するための方策..... 9

### 家庭教育 p.10

- 保護者への情報伝達方法..... 10
- 子育て支援についての意識..... 11

# ● 調査概要 ●

## 福井県調査

## 全国調査

名称	幼児教育に関するアンケート	第1回 幼児教育・保育についての基本調査(幼稚園編・保育所編)
調査対象	幼稚園・保育所・小学校1・2年の <u>教職員</u>	園児数30人以上の国公立私立幼稚園または認可保育所 <u>園長・副園長(教頭)・主任</u>
調査地域	福井県	全国
有効回答数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園 358 (国公立181 私立177)</li> <li>・保育所 1609 (公立534 私立1075)</li> <li>・認定こども園 38</li> <li>・小学校 448</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園編 1604 (国公立401 私立1203)</li> <li>・保育所編 3018 (公営1584 私营1434)</li> </ul>
調査時期	<u>2011年9月</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園編 <u>2007年6月</u></li> <li>・保育所編 <u>2008年9～10月</u></li> </ul>
調査方法	郵送法(県政マーケティング調査)	郵送法

※全国調査の詳しいレポートは、ベネッセ次世代育成研究所のホームページからご覧ください。

<http://www.benesse.co.jp/jisedaikens/>

# ●結果まとめ●

## 教職員の資質向上

- ・資質向上に必要なことは、私立は「給与面での待遇改善」、公立は「研修時間の保障」
- ・園(校)外研修に対する評価は高い
- ・研修の改善点は、「参加しやすい日時」「代替職員の確保」

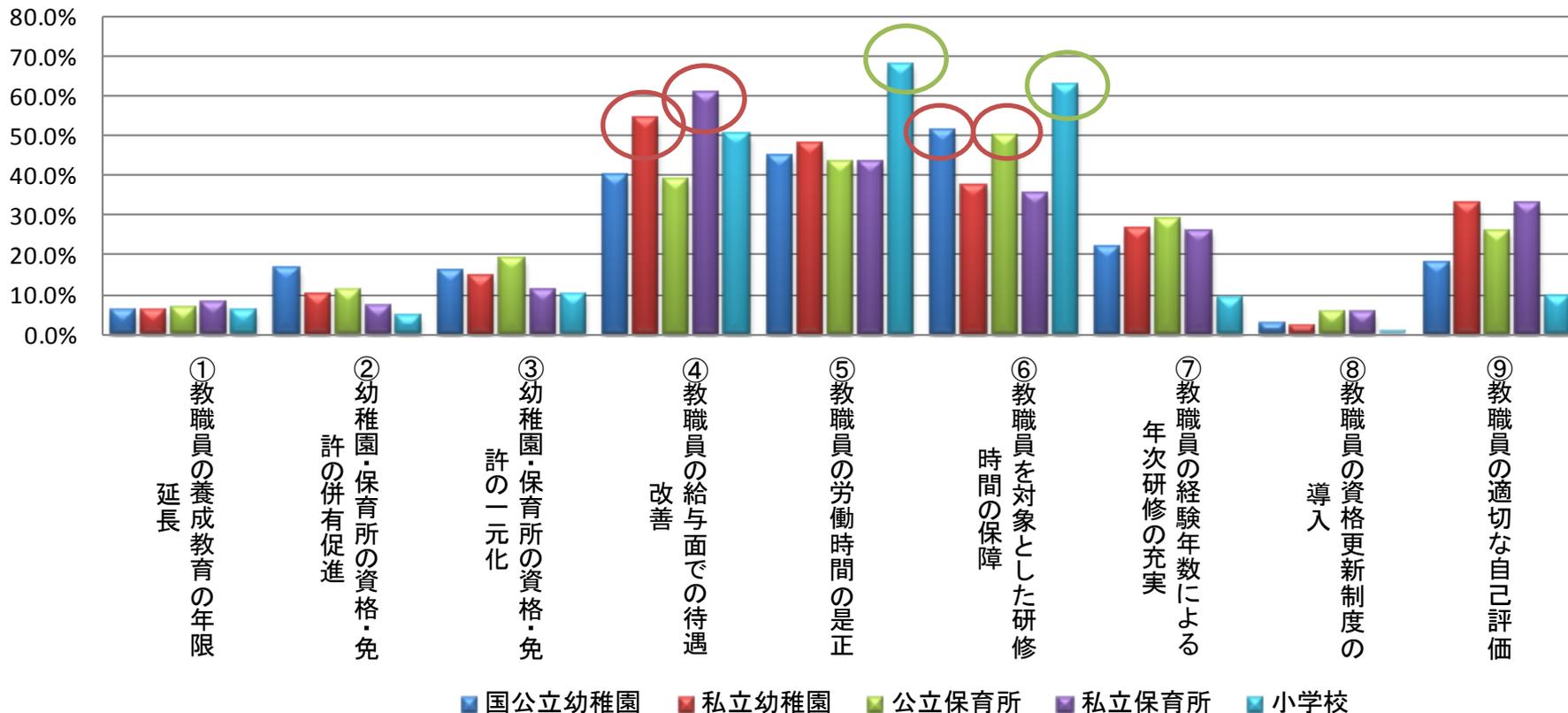
## 保幼小連携

- ・小学校との交流は、年に1～2回程度が多い
- ・保幼小連携のためには「連絡会議」「相互訪問」が必要

## 家庭教育

- ・保護者への情報伝達方法は、「送迎時のやりとり」「連絡帳」など
- ・子育て支援をすることで「教育・保育環境がよくなる」
- ・一方で、「保護者の依存を招く」と懸念
- ・子育て支援による「保育者の負担が大きい」

●教職員の資質向上に必要なこと(3つまで選択)

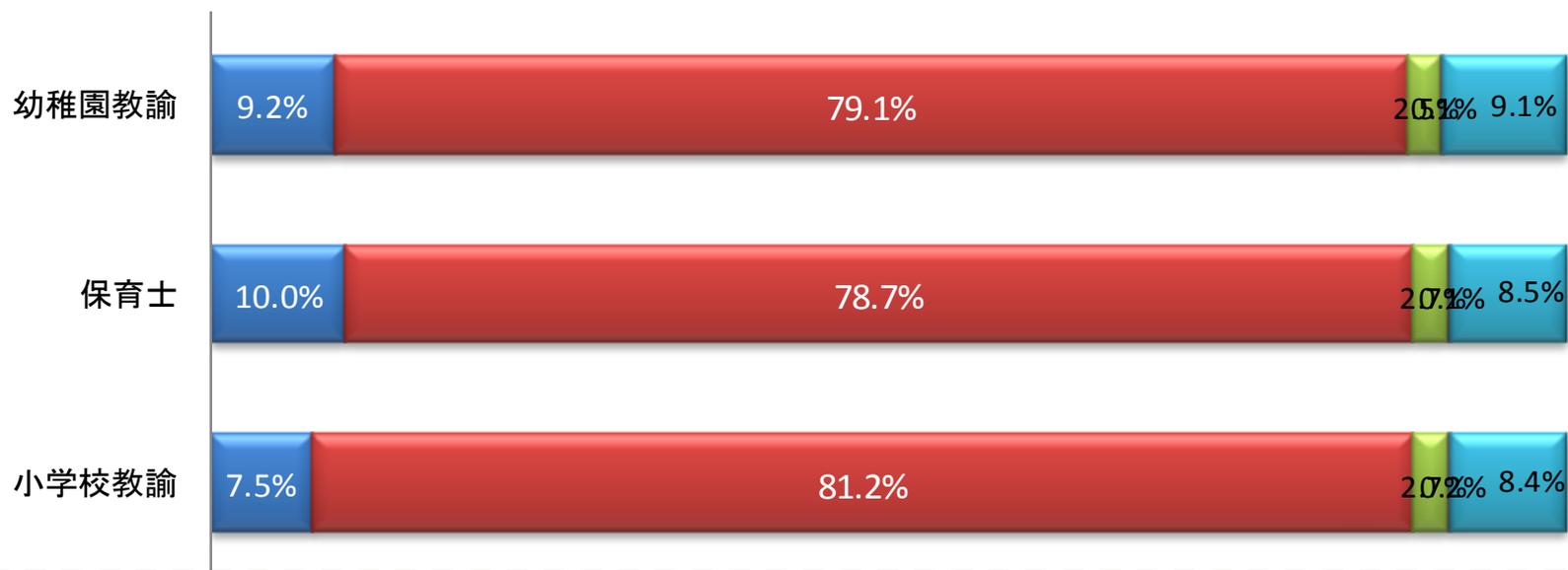


※「その他」除く

教職員の資質向上に必要なことをたずねた。「給与面での待遇改善」は私立幼稚園・保育所、「研修時間の保障」は公立幼稚園・保育所、「労働時間の是正」は小学校の回答が多かった。

●H22年度に参加した園(校)外研修の感想

■ ①大変良かった ■ ②良かった ■ ③あまり良くない ■ ④良くない ■ ⑤未記入・無効等

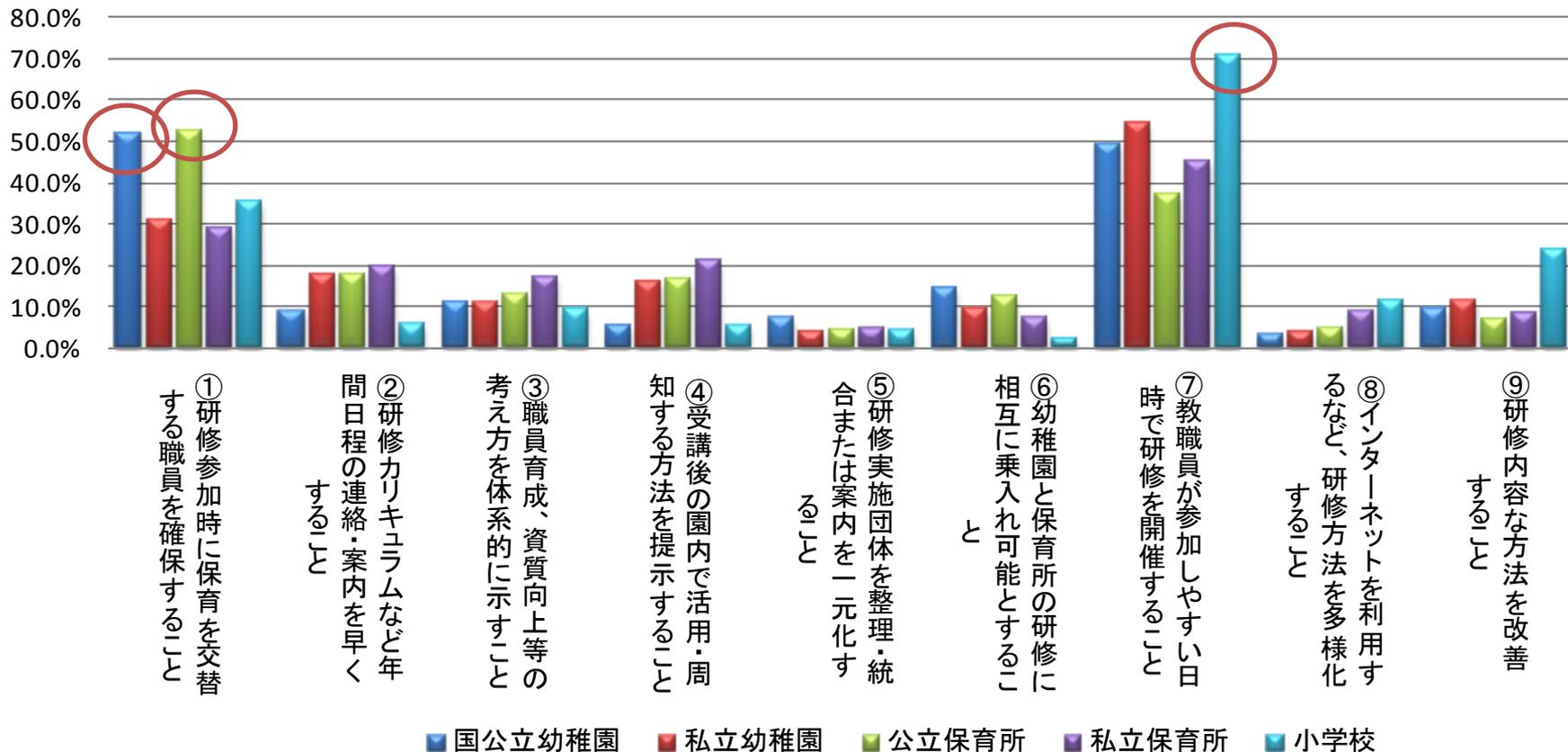


H22年度に参加した園(校)外研修の感想は、幼稚園教諭・保育士・小学校教諭いずれもほぼ9割が「大変良かった」「良かった」と回答。

参考)受講者にとっての研修の意義

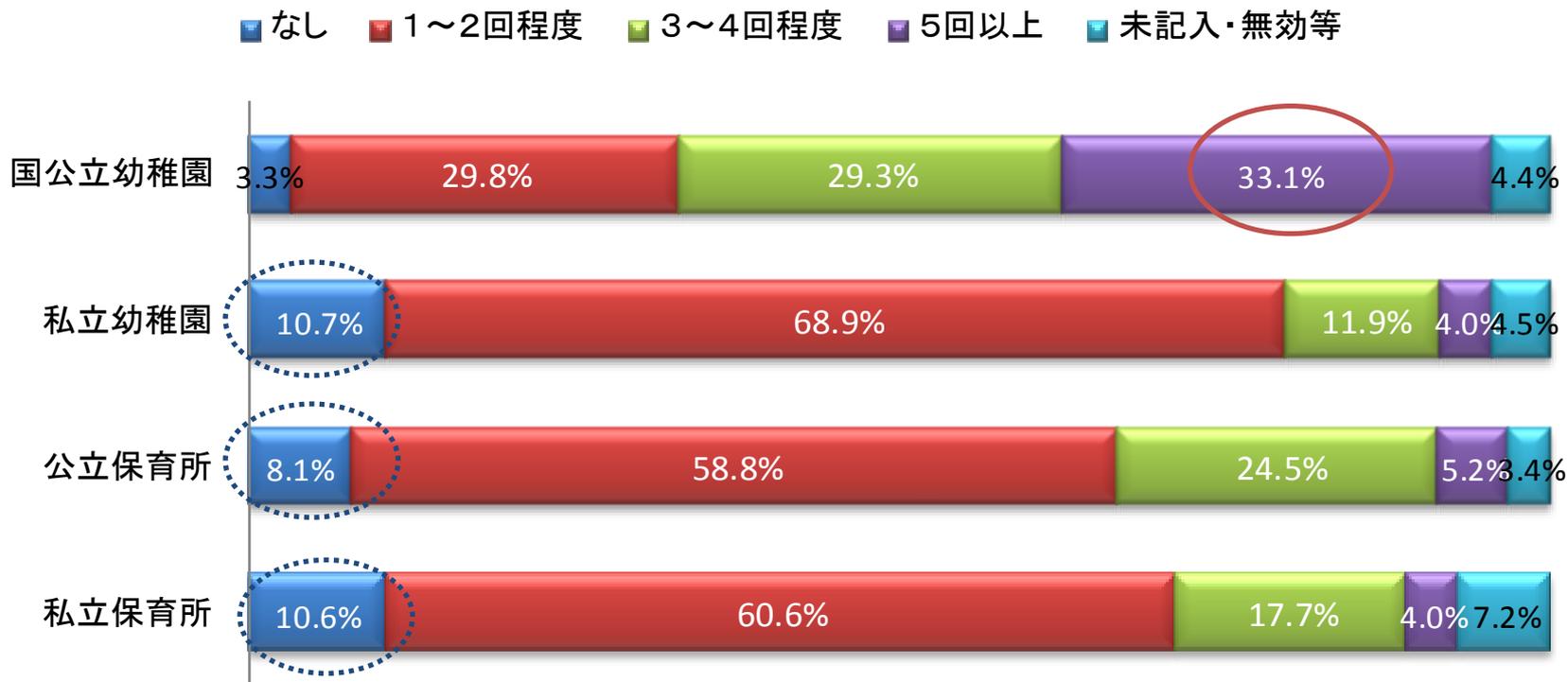
- ①園や学校の教育の質を高める核になる
- ②受講者の視野を広げたり、学ぶ姿勢が育まれる
- ③日々の実践を理論的に分析することで、実践を深化できる

● 教職員研修の改善点(2つまで選択)



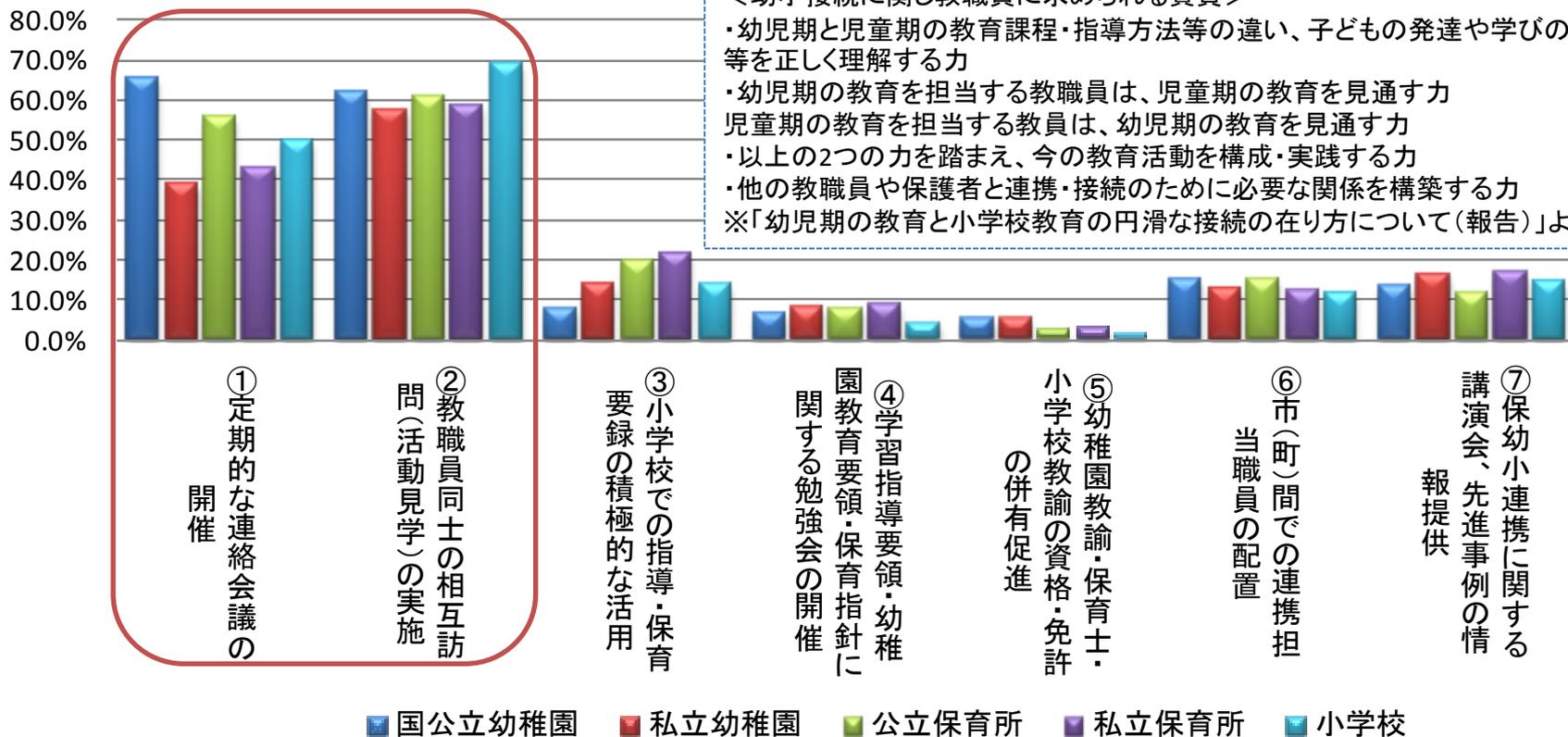
研修の改善点として、内容や方法・周知よりもまず、「研修に参加できる体制作り」が望まれている。

## ●H22年度の幼稚園・保育所と小学校の交流



幼稚園・保育所と小学校との交流は、年に「1～2回程度」が多い。一方、国公立幼稚園では約3割が「5回以上」であり、私立幼稚園・保育所の約1割は「なし」と回答。

## ●教職員間で保幼小連携を進めるための方策(2つまで選択)

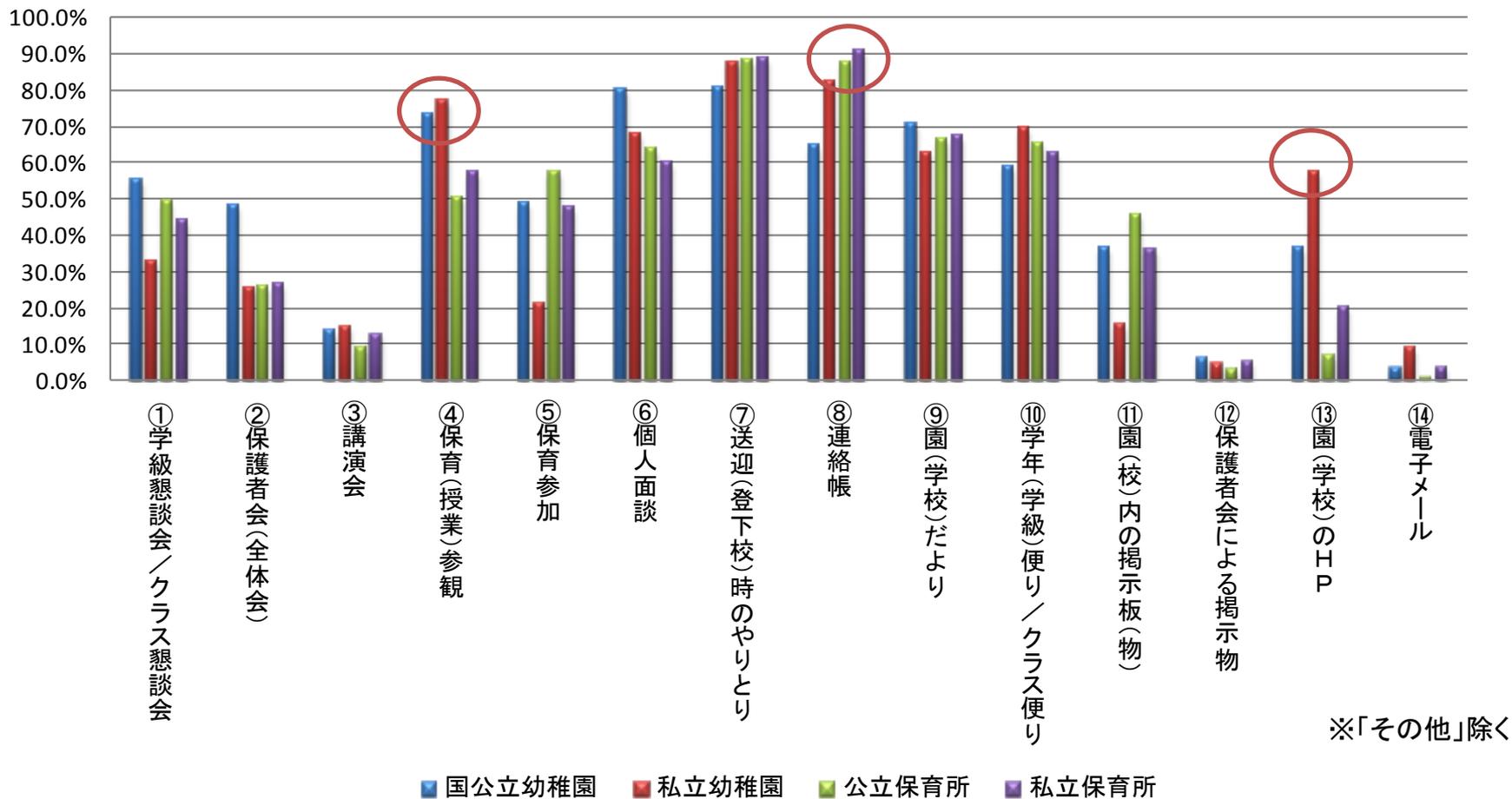


＜幼小接続に関し教職員に求められる資質＞

- ・幼児期と児童期の教育課程・指導方法等の違い、子どもの発達や学びの現状等を正しく理解する力
  - ・幼児期の教育を担当する教職員は、児童期の教育を見通す力
  - ・児童期の教育を担当する教職員は、幼児期の教育を見通す力
  - ・以上の2つの力を踏まえ、今の教育活動を構成・実践する力
  - ・他の教職員や保護者と連携・接続のために必要な関係を構築する力
- ※「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について(報告)」より

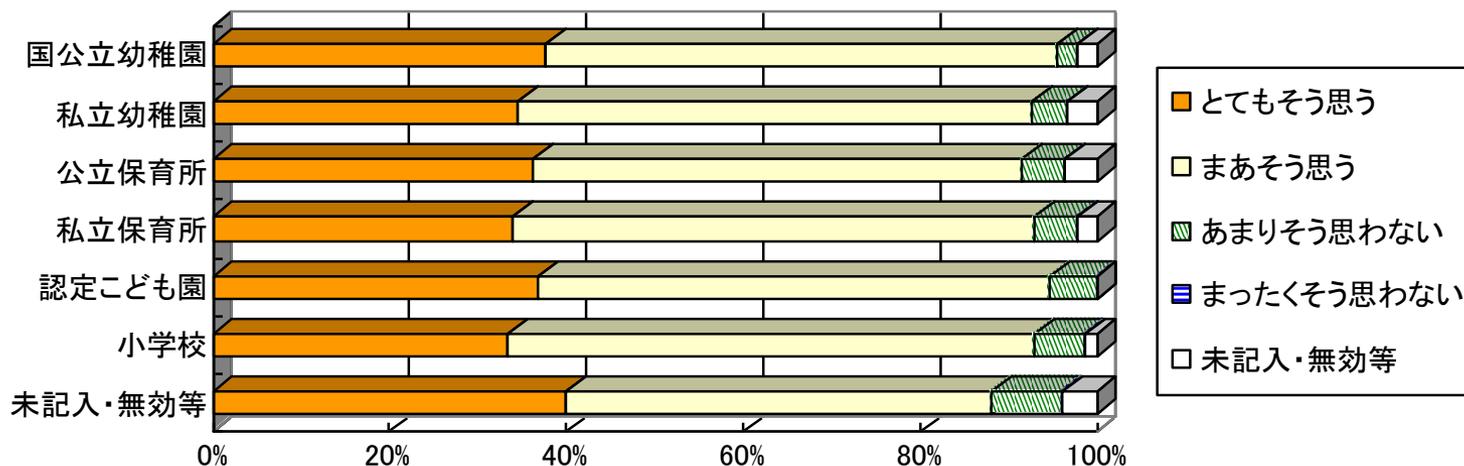
教職員間で保幼小連携を進めるためには「定期的な連絡会議の開催」「教職員同士の相互訪問の実施」といった、実際のコミュニケーションの場が必要。

●園児・児童に関する情報や園(学校)での様子を保護者に伝える方法(複数選択)



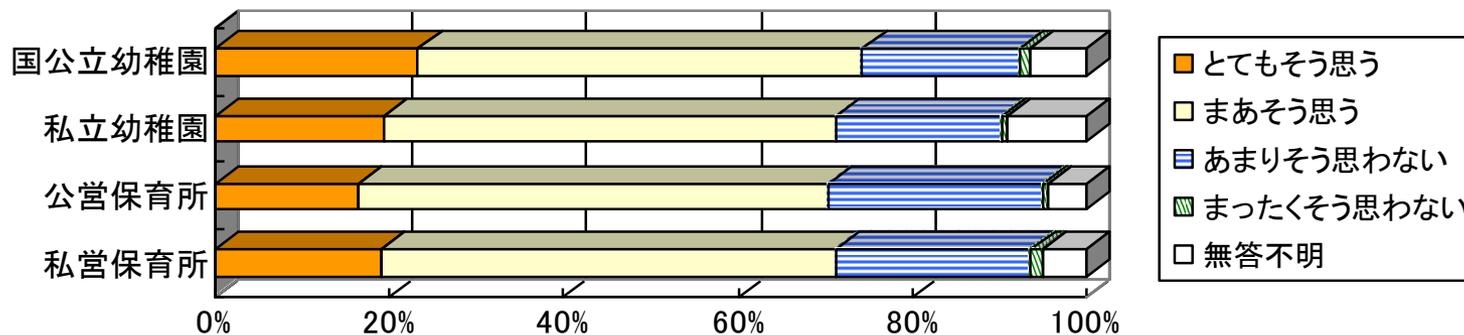
保護者の状況に応じて、幼稚園・保育所それぞれにコミュニケーション方法に違いがある。

●家庭教育を支援・指導することについて 「乳幼児の教育・保育環境がよくなる」

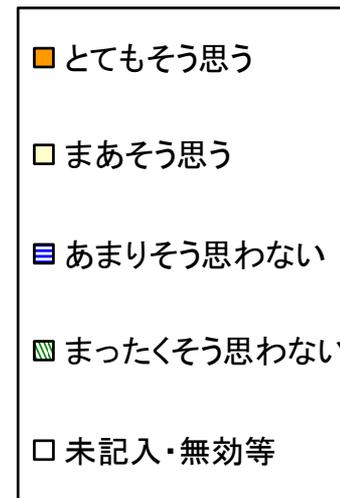
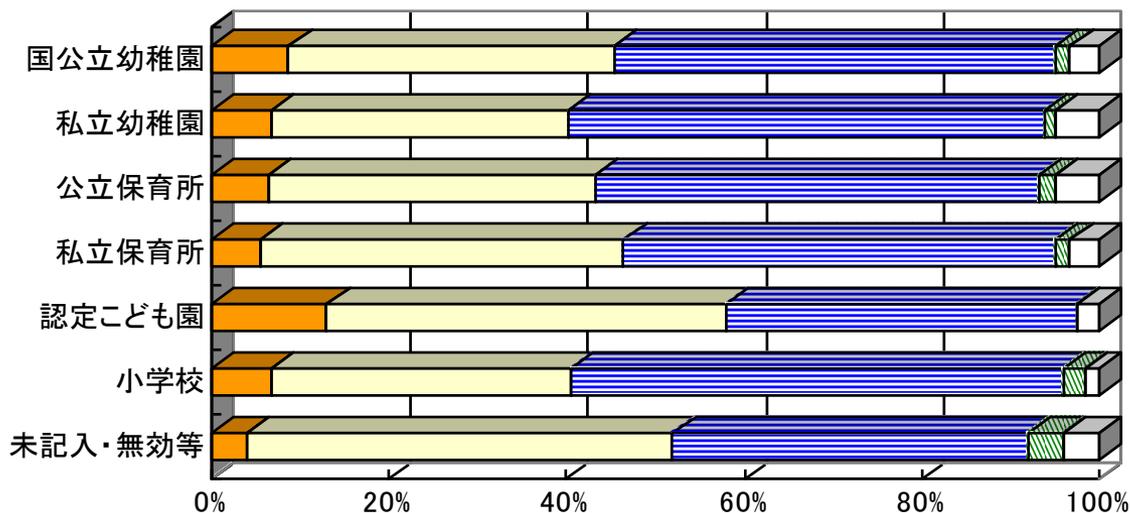


参考

乳幼児の教育・保育環境がよくなる ～全国調査～

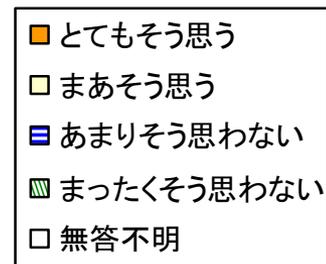
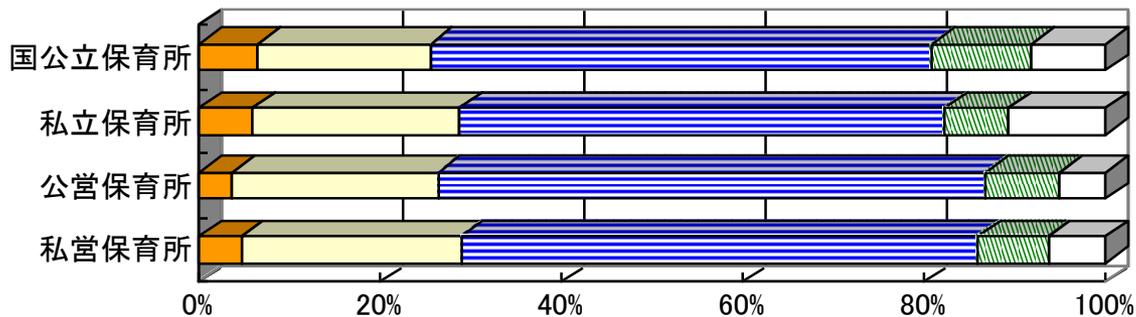


## ●家庭教育を支援・指導することについて 「保護者の依存を招く」

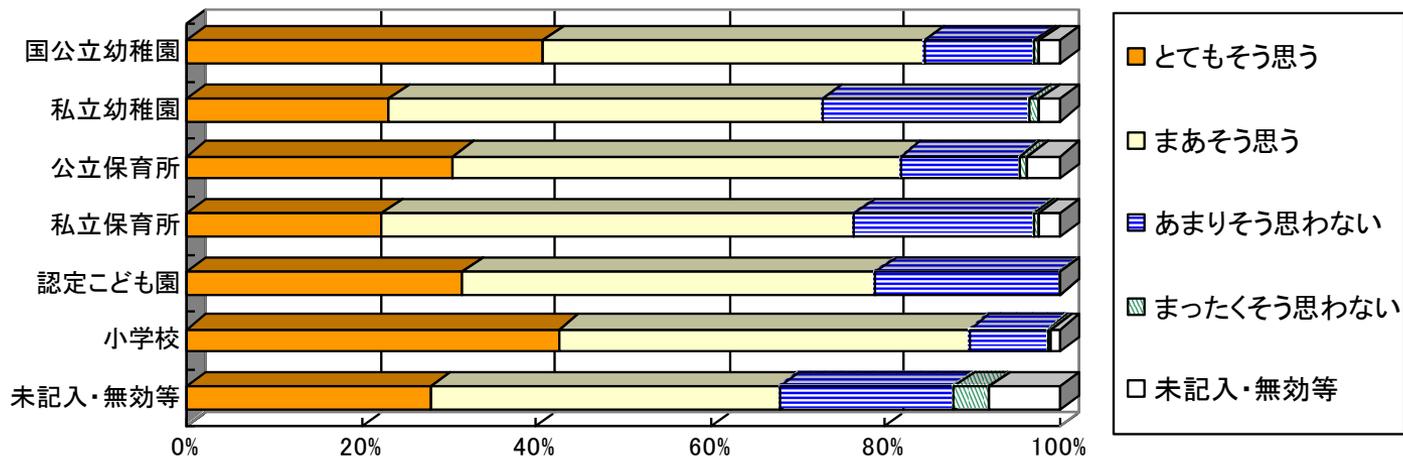


参考

### 保護者の依存を招く ～全国調査～

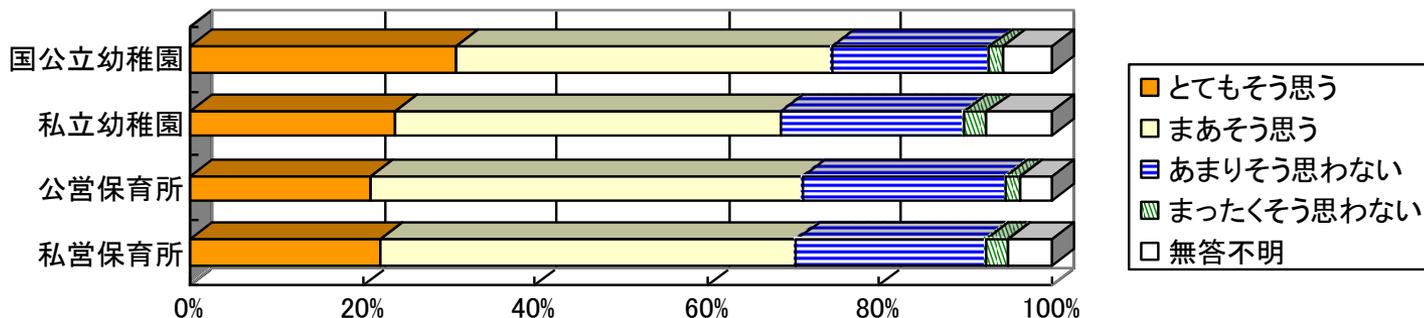


## ●家庭教育を支援・指導することについて 「保育者の負担が大きい」



参考

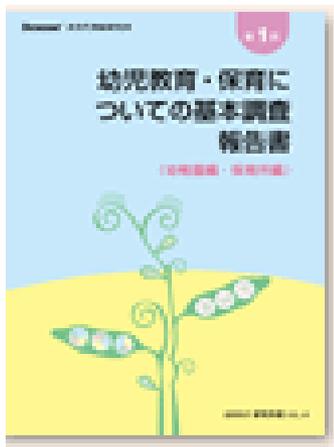
## 教職員／保育士等の負担が大きい ～全国調査～



# ● 幼児教育にかかわる、ベネッセ次世代育成研究所の主な発刊物

## 調査報告書

幼児教育・保育についての基本調査



## 保育者研修ガイド

保育者研修進め方ガイド(H22.文部科学省委託)



## 定期刊行物

園向け情報誌  
「これからの幼児教育」



## 事例集

幼児の遊びに  
みられる「学びの芽」



すべて、ホームページでダウンロード(無料)できます。発送希望の際はご連絡ください。